

仮想空間を活用した新たな働き方「メタワーク」の実証実験を実施します

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長執行役員：香川 佳之／以下、当社）は、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学未来社会創造機構（未来社会創造機構長：佐宗 章弘／以下、名古屋大学）と愛知県新城市（市長：下江 洋行）との「メタワーク環境構築に関する実現性検証施策」の合意書に基づき、2025年8月より新城市にて仮想空間を活用した新たな働き方「メタワーク」の実証実験を実施いたします。

【実施概要】

1. 実施期間 2025年8月25日（月）～9月7日（日）
2. 時間 9:00～19:00（1回60分）
3. 場所 新城市 勤労青少年ホーム（愛知県新城市西入船）
4. 実験内容 VRゴーグル・コントローラーで遠隔地のロボットアームを操作
5. 対象 18～65歳の市民（事前予約制・参加謝礼あり）
6. 参考URL <https://sip3-metawork.com/>

【実証のポイント】

・VR+ロボット操作を体験：

市民が実際に「遠隔作業（メタワーカー）」を体験します。操作対象は遠隔地のロボットです。

※将来は遠隔地にある物流倉庫や工場での業務など、さまざまな場面での応用を期待します。

・働き方の実験：

高齢者・主婦・学生など、場所を問わない新たな就業機会の可能性を提示します。

・新城市と協力する“地域DXモデル”：

自治体と連携し、公共施設を仮想労働拠点にして地域との共創モデルを提示します。

【当社の役割】

・地域におけるメタワーク拠点の設置

新城市の公共施設においてメタワーク拠点を設置し、地域に根ざした実験的なメタワークの取り組みを開始します。設置にあたっては、自治体と連携し、作業スペースや通信環境の整備を行います。実証実験対象者には、取り組みの目的や趣旨を十分ご理解いただいた上で、円滑な実施を図ります。今後は、地域コミュニティにおけるメタワークの拠点展開に向けた枠組みの構築を進めてまいります。

・バーチャル公民館[®]を用いたグローバルコミュニティ基盤の構築

地域コミュニティの活性化には、単なる就業の機会の提供にとどまらず、教育・文化・観光までを含めた交流人口・関係人口の拡大が重要です。当社が提供する「バーチャル公民館[®]」では、IT技術を活用し、地域住民が相互に「まなぶ」「つどう」「むすぶ」ことができる仕組みを、自治体と連携して探索していきます。これにより、地域に根ざした持続可能なコミュニティ基盤の構築を目指します。

【実験のイメージ図】



本実証は、2023 年に、内閣府の事業である「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 3 期／バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備／地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発」に、名古屋大学と国立研究開発法人産業技術総合研究所が共同提案を行い採択された研究の一環として実施されるものです。当社は、名古屋大学からの再委託を受けて本事業を実施しています。

以上

【トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 会社概要】

設立： 2006 年 4 月

所在地： 愛知県豊田市花本町井前 1 番地 9

代表者： 代表取締役社長執行役員 香川 佳之

事業内容： **IP（知的財産）事業**

調査・技術動向解析、外国出願・権利化（特許・意匠・商標）、翻訳・通訳

計測シミュレーション事業

計測機器・装置の開発／製作、装置・設備の企画／計画立案、

モデルベース開発ソリューションの提案／提供、計測機器の校正／検査／修理、

次世代事業の開発支援

出資比率： トヨタ自動車株式会社 100%出資

URL： <https://www.toyota-td.jp/>

